

令和 7 年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書  
(令和 6 年度事業対象)

令和 7 年 11 月

能美市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和 6 年度 of 取組について、自らその状況を点検・評価し、金沢美術工芸大学 桑村 佐和子先生にご意見をいただき、まとめました。

能美市教育委員会としては、点検及び評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいります。

令和 7 年 11 月

能美市教育委員会

## 目 次

### 1 事務の点検評価

#### 施策 1 学校教育の充実

1 教職員の資質ならびに授業力の向上	4
2 豊かな心, 確かな学力の向上	7
3 教育支援の充実	10
4 コミュニティスクール事業	11
5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～	12
6 教育環境の整備充実	13

#### 施策 2 青少年の健全育成

1 青少年教育	14
---------	----

#### 施策 3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動	15
2 公民館活動の推進	16
3 社会教育施設の運営	20

#### 施策 4 芸術・文化の振興

1 文化財の保存と活用	24
2 能美ふるさとミュージアムの活動	26
3 文化振興	30

#### 施策 5 スポーツの推進

1 競技スポーツの充実・強化	31
2 生涯スポーツの普及・振興	33
3 スポーツ施設の整備充実	34

### 2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議	36
2 総合教育会議	40
3 教育委員の主な活動	41

### 3 学識経験者の意見

43

## 施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

### 1 教職員の資質ならびに授業力の向上

#### 令和6年度の主な取組

##### ◇教職員研修事業（925 千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のよう  
に施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会や研修等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

また、今日的な課題、特に GIGA スクール構想の実現に向けて、教職員の資質・授業力向上を目指します。令和6年度は、文部科学省「リーディング DX スクール事業」の採択を受け、指定校6校及び協力校5校が、児童生徒の1人1台端末を活用した令和の日本型学校教育の構築に向けた優れた実践の創出、普及及び展開に努めます。

さらに、「学びのベーシック事業」研究校を指定し、指定研究校に大学等から外部講師を継続して招へいすることで、学校研究を充実させます。

両事業での成果を全国や県内・市内に発信し共有します。外部講師から指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

#### \*リーディング DX スクール事業「公開発表会」

地区名（学校名）	講師名	所属等	開催日
根上地区 指定校：根上中・浜小 協力校：福岡小	平井聡一郎	文部科学省 学校 DX 戦略アドバイザー	11 月 14 日
寺井地区 指定校：寺井中・寺井小 協力校：栗生小・湯野小	高橋 純	東京学芸大学	2 月 5 日
辰口地区 指定校：辰口中・辰口中央小 協力校：宮竹小・和気小	スチュアート・ミラー 加藤 隆弘	Google for Education 金沢大学大学院	11 月 28 日

＊リーディングDXスクール事業「キックスタート研修」

- ・4月19日 東京都 指定校6校派遣

＊リーディングDXスクール事業「夏期学習会」

- ・8月19日～20日 東京都 指定校6校派遣

＊リーディングDXスクール事業「視察」

- ・愛知県春日井市「研究開発学校研究発表会」  
11月1日 指定校及び協力校より4校派遣
- ・大分県玖珠町「リーディングDXスクール事業公開発表会」  
12月5日 市教委より1名派遣

＊リーディングDXスクール事業「学校DX戦略アドバイザー派遣」

- ・5月23日 <NHF研修会> 平井聡一郎（合同会社 未来教育デザイン）
- ・6月25日 <寺井小> 國香真紀子（富山県富山市立藤ノ木小学校）
- ・7月3日 <宮竹小> 國香真紀子（富山県富山市立藤ノ木小学校）
- ・11月8日 <寺井中> 大村龍太郎（東京学芸大学）
- ・2月13日 <宮竹小> 平井聡一郎（合同会社 未来教育デザイン）
- ・2月21日 <管理職等研修> 平井聡一郎（合同会社 未来教育デザイン）
- ・2月25日 <和気小> 稲木健太郎（栃木県壬生町立壬生東小学校）

＊学びのベーシック事業「講師招へい」一覧

学校名	講師名	所属等	開催日
浜小	樋口 綾香	池田市立神田小学校	4月4日
	〃	〃	8月5日
	加固希支男	東京学芸大学附属小金井小学校	8月7日
	樋口 綾香	池田市立神田小学校	8月21日
	平井聡一郎	合同会社 未来教育デザイン	9月20日
	〃	〃	10月16日
寺井小	庄子 寛之	ベネッセコーポレーション	4月5日
	高橋 純	東京学芸大学	5月10日
	〃	〃	8月9日
栗生小	石田 淳一	東京家政大学	5月24日
	加固希支男	東京学芸大学附属小金井小学校	8月8日
	森永 秀典	金沢星稜大学	12月10日
	樋口万太郎	中部大学	2月12日
辰口中	加藤 隆弘	金沢大学大学院	9月26日
	稲垣 忠	東北学院大学	2月14日

## 評価

令和6年度は「GIGA スクール構想」が4年目となりました。デジタル学習基盤としてchromebookの良さを最大限に活用しながら、「学びのDX」と「校務のDX」の両面から各校で熱心に研究と実践を重ねました。積極的なチャットスペースによる情報交換のもと、1人1台端末を活用した授業実践が進められ、質の向上を図ることができました。

文部科学省「リーディングDXスクール事業」の採択を受け、指定校6校及び協力校が、児童生徒の1人1台端末を活用した「令和の日本型学校教育」の構築に向けた優れた実践の創出、普及及び展開に努めたことは大きな機会となりました。指定校を中心として、国の動向を直接学ぶことができ、根上・寺井・辰口地区の小中連携によって、全国に向けて発信をする機会を得たことで、市内全11校への横展開をも図ることができました。

また、平成30年度から始めた「学びのベーシック事業」の7年目となる令和6年度は、市内4小中学校を研究校に指定し、学校研究の充実を図ってきました。「リーディングDX事業」とも関連させ、両事業による講師の指導助言の機会を校種に捉われず、市内各校に広く展開し、市内全教職員の学びとして共有することができました。

国が推進する「GIGA スクール構想」について、能美市が「リーディングDXスクール事業」指定箇所となったことで、デジタル学習基盤の好事例を示すモデル地域として、全国でも能美市は、大変注目される地域となりました。今後も、本事業を通して、市内教職員の学びの場を担保し、良い実践を広く展開することで、市内の子どもたちの資質・能力の向上、豊かな人間形成を目指していきたいと考えます。

## 2 豊かな心、確かな学力の向上

### 令和6年度の主な取組

#### ◇フォローアップスクール事業（1,751千円）

本市では、児童の主体的な学びの実現に向け、月2回程度の土曜日午前、地域の元教員や教員希望の学生等を講師として、フォローアップスクール事業を展開しています。

#### 【フォローアップスクール事業の理念】

- ・自ら学び、解決しようとする学習スタイルの確立
- ・児童の学習に向かう意欲の喚起
- ・地域の方との学びを通して育む社会性と人間性
- ・豊かな経験を持つ地域人材の活用

平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対して取り組んできました。算数科や国語科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。平成28年度からは、学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含め、事業の幅を広げています。

また、令和元年度から「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」を作成し、学びの基本的な姿を共有し、一人一人が意欲的に学びを進める場所づくりに取り組んできました。どの会場でも講師のきめ細やかな見守りの中で、個々の主体的な学びを進められています。令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大のために参加児童の減少が見られましたが、防止策を講じながら継続してきました。現在まで、申込総数は常に200人を超え、各地区で多くの児童の学びを支えています。

#### 【よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条】

1. むいだはき物は、きちんとそろえます。
2. 先生や地域の人に元気よくあいさつします。
3. 先生や地域の人にはていねいな言葉づかいをします。
4. 学習の準備をしっかりとします。
5. ノートやプリント、学習のふりかえりなど、ていねいな字で書きます。
6. あとかたづけをきちんとします。
7. よく考えて、自分のための自分の勉強にとりくみます。

#### \*近年の参加児童数の推移（年間の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
令和元年度	39	53	120	212
令和2年度	59	37	80	176
令和3年度	69	85	75	229
令和4年度	60	96	79	235
令和5年度	66	117	91	274
令和6年度	64	110	73	247

- \*講 師 39 名
- \*会 場 (根上) 根上学習センター (寺井) 寺井図書館、栗生公民館  
(辰口) 辰口福祉会館、宮竹 CC 館

## 評価

これまでの確実な取組が積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

### ・満足度調査

児 童： 満足 100% 保護者： 満足 100%

「温もりのある居心地の良い教室環境となっている。勇気を出して先生に質問したらわかった、行くのが楽しみになった。」のような肯定的な感想だけでなく、「習い事と重なり行けない日もあるが、可能な限り参加したい」という声も複数あり都合に合わせた出席も可能にしています。複数年にわたる積み重ねの成果として、個々の成長が実感できることが、講師にとっても喜びとやりがいにつながっています。

講師の地域人材は教育的愛情に満ちた方々ですが、高齢化もありますので、講師を確実に確保することが重要と考え、教員志望の大学生や退職教員に声をかけています。

## ◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,829 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を重要な領域と位置づけ、すべての教育活動を通して取組を充実させていくことが大切であると考えます。

昨今、自己存在感や自己有用感の低さやコミュニケーション能力の未熟さなどから、人間関係づくりに困り感を抱えている児童生徒が増加しています。そのことがいじめ等の生徒指導上の諸問題の発生や登校しぶり、不登校児童生徒の増加といった課題の要因の一つにもなっています。より良い学校生活と友達づくりのための QU アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、その結果分析をもとに居場所づくり、絆づくりを推進することで、心の教育の更なる充実を図ります。

\*目 的 一人一人の児童生徒の内面をつかむために QU アンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

\*対象学年 小学校 4 年生～中学校 3 年生全員

\*実施回数 年間 2 回（6 月・11 月）

\*実 績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6 月実施	11 月実施
令和 2 年度	47 %	57 %
令和 3 年度	60 %	61 %
令和 4 年度	57 %	65 %
令和 5 年度	69 %	62 %
令和 6 年度	49 %	62 %



「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6 月実施	11 月実施
令和 2 年度	63 %	66 %
令和 3 年度	65 %	66 %
令和 4 年度	65 %	69 %
令和 5 年度	67 %	68 %
令和 6 年度	64 %	69 %

#### 評価

QU アンケートの結果は学級集団の状況把握，困り感を抱えた児童生徒の把握に有効であり，学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し，人間関係力を高める取組を充実させています。推移を見ますと「親和的な学級」の割合については 6 月は落ち込みましたが，11 月につきましては，例年とほぼ同じ割合になり，6 月結果から見えた課題に対して各校で取組を実施した結果，居心地の良い学級が増えたものと思われます。

本市においても不登校は小学校，中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。不登校の課題改善に向けては未然防止，早期対応，個別の支援の 3 本の柱で取組を充実させていく必要があります。QU アンケートだけではなく，別の検証方法でも不登校の改善を図っていければと考えています。

### 3 教育支援の充実

#### 令和6年度の主な取組

##### ◇特別支援教育支援員配置事業（79,176千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒かつ周囲の児童生徒の学びやすさ、居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

##### \*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成28年度	20	8	28
平成29年度	23	8	31
平成30年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27
令和2年度	21	9	30
令和3年度	26	7	33
令和4年度	33	8	41
令和5年度	37	7	44
令和6年度	35	6	41

#### 評価

特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個々のニーズに合わせた支援が丁寧に行われています。

市教育センター、市こども相談ステーション等の関係機関との連携を重視しており、市の関係課も交えて情報交換会を行い、それぞれの課でできることを考え、実施しています。

特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。例年、年間2回の研修会を開催しています。第1回については市教育センターの相談員が各校へ訪問し、支援員の役割等について懇談を行う機会を設けました。小集団で発達障害を抱える子どもの特性や特別支援教育支援員としての役割について学ぶことができ、支援員からは好評でした。

また、7月にはスクールカウンセラーによる適切な児童生徒との関わり方や支援の仕方のポイントについて講話して頂き、特別支援教育支援員のレベルアップに努めました。

市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を本人と保護者の合意を得て決定しています。

特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保が難しい現状があります。

#### 4 コミュニティ・スクール事業 (2,734 千円)

##### 令和6年度の主な取組

子どもたちの学習環境の充実や安全安心の環境づくりの向上をめざして、全11小中学校にコミュニティ・スクールを位置付けています。平成29年度に8小学校、令和2年度に3中学校に学校運営協議会を設置し、能美市の強みである「地域の力」を学校運営に生かして、組織的で計画的・持続可能な教育活動の一層の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。

##### 【能美市コミュニティ・スクールのねらい】

- ・学校運営協議会が地域の「ひと、もの、こと」の教育力を活用して、子どもたちに「社会で生きる力」「学ぶ楽しさ」「ふるさと能美市を愛する心」を醸成し、豊かな成長を支えます。（人づくり）
- ・学校運営協議会が中心となって、学校と地域・保護者をつなぎ、学校のパートナーとして地域全体で、「地域とともにある学校づくり」を進めます。（学校・地域づくり）

##### 【学校運営協議会の活動】

学校運営協議会では、地域の方が自分のもっている知識や特技を生かして学校の教育活動に参加して、学校と連携を図ります。子ども達は多くの地域の方から学ぶことを通して、知恵や技能を習得し、学ぶ大切さ、人との温もり、地域のよさを感じます。社会に向き合い、かわりあう力、協働する力を育むために、授業や行事、日々の活動などに取り組みます。

##### 評価

各学校の特色を生かした活動を展開できました。楽しい学校づくりの一環として取り組んだ「ほっとるうむ」を朝に開設して、学校を渋りがちの子どもたちとの対話を中心に対応を図り、子ども達の心のやすらぎを向上することができた学校もあります。

また年々学校の要望も高まり、地域の方が参加する学習が増えてきました。小学校では、家庭科の技術支援、図工科や体育科の安全支援、算数などの基礎学力支援、クラブの先生、郷土学習、キャリア教育のゲストティーチャーなど、中学校では職場体験の企業紹介や職業人講話の講師発掘、清掃活動支援や家庭科の技術支援、数学、英語の基礎学力支援、地域探検支援など多くの活動を通して、地域の教育力を生かし、地域の方との触れ合いの中で、学びの充実、地域のよさを感じることができました。立志式、英語検定の監督、朝の挨拶運動など、学校運営協議会委員も参加して、子どもたちに「顔の見える化」を進める活動も行い、顔見知りになってきている学校もあります。

6年児童のアンケートの中で能美市のいいところに対して「地域の方がボランティアなどしてくれていること。いろいろな伝統文化がある。町民の人たちが優しくて明るいところ。能美市の魅力とかはだいたいは知っていたけど、地域の方にお話とかを聞いて能美市の魅力は自分が思っているよりもたくさんあった。自分もまだみんなが知らない能美市の魅力を学んでみたい。」という声が聞かれ、地域の行事に参加する子どもも増えたと聞きました。課題としては、学校のニーズに対応するサポーターの発掘を進める必要があります。そのためには、委員のネットワークを広めていく必要があります。

## 5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～ (273 千円)

### 令和6年度の主な取組

市では、令和3年度から多方面で活躍されている能美市出身の方の講演を通して、先輩の活躍に触れることで、働くことの意義や目標をもって努力することの大切さを知り、これから夢や目標をもって自分の進路を主体的に考える機会として、「ようこそ先輩」の講演会を開催しています。

今年度も中学1年生が、先輩のこれまでの体験談を聴き、広く職業について知り、社会に対する志を持つ学習に取り組みました。

対 象：市内中学校1年生 468名

日 時：令和6年9月17日（火）14：00～

場 所：根上総合文化会館 音楽ホール

講 師：フリーアナウンサー ラジオパーソナリティ

小林 奈々絵 氏（寺井中学校出身）

演 題：「人生は七転び八起き！～つまずいたっていいんだよ～」

### 評価

生徒にとってこれからの進路を考えるときの指標となったとともに、能美市出身の先輩が活躍されていることは誇りであり、希望です。「つまずいてもあきらめなければ夢は近づく、あきらめるのではなく、視点を変えてみることで可能性が増えていく、いくつになってもチャレンジすることを恐れずに、実現まで努力すること、そして主役でなくても、やれることは全力で努力すれば、必ず誰かが認めてくれる、つまずいても、起き上がって前へ進み、なりたい自分に近づく努力をしよう」という言葉をいただき、学びを深めました。

#### 【生徒の感想】

※「ようこそ先輩」の小林奈々絵さんのお話を聞いて、小学校から大学生、現在のお話を聞いて、やりたいことを口に出したりすることでもしかしたらできるかもしれない！という思いが大切なのかもしれないと思いました。ディズニーに関係するお仕事がい！という思いも叶っていたので、やりたいことをやっていく人生にしたほうが絶対に楽しそうだと思います。年をどんどん重ねていくごとに少しずつ自分が体感している時間が短くなっていくので、一日一日を大切に楽しく過ごしたいと思いました。

※小林奈々絵さんの話を聞いて、どんな事があっても諦めない姿はカッコいいなと思い、自分も小林奈々絵さんみたいに諦めない気持ちを大切にしようと思いました。また、諦めなければ何だって叶うと信じて、チャレンジすることを恐れずやれることは全力で頑張ろうと思いました。大切なことを沢山気づかせてくださる素敵なお話をありがとうございました。

※この講演を聞いて諦めないことやチャレンジすることを忘れないことなどが大切なんだとわかりました。意味のないことなんてない聞いて自分が今やっていることも無駄にはならないんだと感じました。大人になっても可能性はどんどん増えると言っていたので焦らずにゆっくりと夢に向かって頑張りたいです。そして今を全力で楽しみたいです。

## 6 教育環境の整備充実

### 令和6年度の主な取組

能美市教育大綱では、学校施設の充実について、学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

学校施設の安全性と機能向上を目指し、老朽化に対応した改修工事、施設整備に必要な実施設計等を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業 23,351千円

(配膳室改修工事、気中開閉器取替工事等)

◇福岡小学校施設整備事業 57,697千円

(配膳室改修工事、プール解体工事等)

◇寺井小学校施設整備事業 28,919千円

(配膳室改修工事、グラウンド改修工事等)

◇湯野小学校施設整備事業 22,151千円

(配膳室改修工事、外壁改修工事実施設計業務委託等)

◇粟生小学校施設整備事業 20,045千円

(配膳室改修工事、空調改修工事実施設計業務委託等)

◇辰口中央小学校施設整備事業 16,535千円

(小学校周辺整備測量・設計業務委託、生徒玄関電気錠設置工事等)

◇和気小学校施設整備事業 14,571千円

(水道設備改修工事、防火シャッター改修工事等)

◇根上中学校施設整備事業 26,967千円

(配膳室改修工事、テニスコートフェンス修繕工事等)

◇寺井中学校施設整備事業 35,274千円

(配膳室改修工事、空調改修工事実施設計業務委託等)

◇辰口中学校施設整備事業 40,012千円

(トイレ改修工事、木工室空調設備設置工事等)

◇教育センター整備事業 4,950千円

(屋上防水改修工事)

◇辰口学校給食センター整備事業 10,912千円

(冷温水ポンプ等更新工事、給湯配管改修工事等)

◇能美市学校給食センター整備事業 1,696,562千円

(能美市学校給食センター整備運営事業、壁面サイン設置工事)

### 評価

市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から50年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。令和6年度は小中学校の改修工事のほか、自校式給食の給食室の機能を集約した能美市学校給食センターが完成し、2学期から給食の提供が始まりました。

## 施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

### 1 青少年教育

#### 令和6年度の主な取組

##### ◇ 青少年健全育成事業（422 千円）

- ・ 各種会議
  - ✧ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
  - ✧ 夏休み期間中、九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
  - ✧ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集  
432作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（10名）】  
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

##### ◇ 心の教育関連事業（116 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
  - ✧ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
  - ✧ 9月2日(月)～9月6日(金)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約1,800人が街頭に立つ）
  - ✧ あいさつデー啓発ポスターは辰口中学校、山本由奈さんの作品を採用

#### 評価

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小中学生の規範意識を高めています。15日以外にも自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、学校や家庭、地域が連携して取り組むことで、子どもの心の成長に一貫性を持った教育的効果が期待できます。また、子ども達と地域とのつながりの一助にもなっています。

例年、能美市のお祭り（九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中にパトロールを実施しています。時間帯の変更や人数の見直しを検討しつつ、今後もパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

### 施策3 生涯学習の推進

#### 1 生涯学習活動

##### 令和6年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2025 (357 千円)

日 時 令和7年2月16日 (日)

会 場 辰口福社会館, 寺井地区公民館, 物見山総合体育館

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには, 市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し, 実践していくことが重要です。本会は, 市民がお互いに話し合い, 体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

参加者数

No.		内 容	人数
1	分科会	太極拳と気功による健康づくり	95
2	分科会	能登半島地震の避難所運営	99
3	分科会	お金の教科書 2025	7
4	分科会	65 歳からの新しい生きがいの発見	13
5	分科会	地域と学校がつながって作る教育環境	45
6	分科会	早めに知っ得! 40 代からの認知症予防講座	34
7	分科会	スマートインクルーシブってなに?	12
8	体験講座	世界の友だちをキャッチ!!	42
9	体験講座	ラフターヨガ (笑いヨガ)	10
10	体験講座	きっと感動! あなたの音色	54
11	体験講座	「まちゼミ」お試し講座 in まなびフェスタ 2025	9
		合 計	420

##### 評価

まなびフェスタ 2025 では, 7 つの分科会と 4 つの体験講座を開催しました。参加者からは, 充実した時間が過ごせた, 気軽に参加出来て良い学びの機会になったと感想をいただきました。また, すべての分科会・体験講座が同じ時間帯なので一つしか参加できず残念だったとの意見もみられました。今後は, さらに市民の学びの場や各種地域活動への参画, 地域の方々との交流を促進する機会場の場となっていくことを期待します。

## 2 公民館活動の推進

### 令和6年度の主な取組

◇成人式～二十歳のつどい～(1,613千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 令和7年1月12日(日)

会場 能美市根上総合文化会館

時間 10時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	74人	98人	75.5%
	女	60人	86人	69.8%
寺井	男	84人	93人	90.3%
	女	101人	116人	87.1%
辰口	男	66人	91人	72.5%
	女	69人	90人	76.7%
計	男	224人	282人	79.4%
	女	230人	292人	78.8%

◇総合文化祭

〈展示部門〉(146千円)

日程 文化協会：令和6年11月2日(土)～11月4日(月・振休)

一般展示：令和6年11月8日(金)～11月10日(日)

会場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター

一般展示：根上総合文化会館

内容 展示を2週に分けて実施しています。1週目は生け花，川柳などの市文化協会の作品を展示しています。2週目は地区公民館，コミュニティーセンター，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(219千円)

○文化協会合同公演

日程 令和6年11月4日(月・振休)

会場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

○市民文化・芸能大会

日程 令和6年11月9日(土)

会場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内容 市内の自治公民館及び市内で活動しているサークル・団体がこの日のために練習してきた演目を披露しました。



◇地区公民館・自治公民館協議会の活動（1,655 千円）

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
5 月 11 日～	ワード基礎講座（10 回）	寺井地区公民館
5 月 11 日～	パソコン入門講座（10 回）	寺井地区公民館
5 月 10 日～	スマホ入門教室（1 回）	寺井地区公民館
5 月 11 日～	エクセル基礎講座（10 回）	寺井地区公民館
6 月 3 日～	役に立つ楽しいペン習字（10 回）	根上学習センター

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5 月 17 日～	各種教養講座・趣味の教室（5 講座を開講）	寺井地区公民館
6 月 16 日	さわやかグラウンドゴルフ大会（参加 26 チーム）	寺井グラウンドゴルフ場
7 月 14 日	寺井地区クリーンデー（14 町会で回収）	寺井地区一円
10 月 6 日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小学校グラウンド
10 月 13 日	寺井地区一周駅伝競走大会（参加 15 チーム） ソフトバレーボール大会（参加 21 チーム）	寺井地区一円 寺井体育館
12 月 6～8 日	歳末助け合い入札展（第 61 回）	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
8 月 7 日	夏休み手作り工作体験教室【飾り棚を作ろう！】	寺井地区公民館
10 月 6 日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場 物見山総合体育館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
6 月 14 日	市協議会役員会	寺井地区公民館
8 月 3 日	春季視察研修会 「北陸新幹線敦賀開通に伴う敦賀駅視察」	県外視察 福井県敦賀市
11 月 16 日	秋季研修会 「九谷焼絵付け教室」	能美市九谷焼美術館 体験館
2 月 21 日	市協議会 役員会・監査会	寺井地区公民館
3 月 7 日	市協議会 総会	寺井地区公民館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
4月12日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月19日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月27日	根上り七夕まつり 踊りの夕べ	根上総合文化会館
8月3日	春季視察研修会 「北陸新幹線敦賀開通に伴う敦賀駅視察」	県外視察 福井県敦賀市
11月16日	秋季研修会 「九谷焼絵付け教室」	能美市九谷焼美術館 体験館
1月29日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月12日	根上地区総会	根上総合文化会館
3月25日	スポーツフェスティバル企画運営委員会	寺井地区公民館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
4月9日	自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
6月16日	さわやかグラウンドゴルフ大会（協会と共催）	寺井グラウンドゴルフ場
6月18日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
7月9日	自治公民館協議会 館長会	寺井地区公民館
7月14日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
8月3日	春季視察研修会 「北陸新幹線敦賀開通に伴う敦賀駅視察」	県外視察 福井県敦賀市
8月22日	自治公民館協議会 館長・体育部長会	寺井地区公民館
9月20日	秋の体育行事打合せ及び抽選	寺井地区公民館
10月6日	第20回 スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月13日	寺井地区一周駅伝大会（参加15チーム） ソフトバレーボール大会（参加21チーム）	寺井地区一円 寺井体育館
11月16日	秋季研修会 「九谷焼絵付け教室」	能美市九谷焼美術館 体験館
1月28日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月13日	寺井地区総会	寺井地区公民館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
6月26日	辰口地区自治公民館協議会 役員会	辰口福祉会館
8月3日	春季視察研修会 「北陸新幹線敦賀開通に伴う敦賀駅視察」	県外視察 福井県敦賀市
11月16日	秋季研修会 「九谷焼絵付け教室」	能美市九谷焼美術館 体験館
12月23日	辰口地区自治公民館協議会 監査会	寺井地区公民館
1月24日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
2月14日	辰口地区総会	辰口福祉会館

## 評価

### ○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいますが、色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に隔たりが見られるのも事実です。

今後の課題として、地区の地域性があることも事実ですが、3地区の一体化も十分精査し検討していく必要があると思われます。

### ○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。3地区とも地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあります。特に辰口地区では世帯数が20に満たない町会から1,000を超す町会があります。

また、地区公民館を中心に自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を活発化することが重要だと思います。

各地区では、年々自治公民館協議会の役員選出が難しくなっています。地区公民館として、市・地区の協議会事業がより有益で効果的なものとなるよう協議・調整を進めると共に、協議会役員への負担軽減を図っていく必要があると思われます。

### 3 社会教育施設の運営

#### ◇市立図書館（148,204 千円）

図書館の運営方針に基づき、3 館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

#### 令和 6 年度の主な取組

##### ○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と 3 館の持ち味を生かした資料収集を行いました。  
（根上図書館：ビジネス書、寺井図書館：美術資料、辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

##### ◎利用状況（令和 7 年 3 月末統計）

- |       |             |                  |                               |
|-------|-------------|------------------|-------------------------------|
| ・蔵書数  | ： 437,584 冊 | ・人 口             | ： 49,492 人（令和 7 年 3 月 31 日現在） |
| ・登録者数 | ： 31,882 人  | ・登録率（市民）         | ： 45%                         |
| ・貸出者数 | ： 97,618 人  | ・市民一人当たりの貸出冊数    | ： 5.4 冊                       |
| ・貸出冊数 | ： 378,073 冊 | ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数） | ： 0.86 回                      |

##### ○「のみ電子図書館」事業

- ・「子育て世代」に重点を置き、いつでもどこにいても 24 時間 365 日インターネットを通じて、電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能なサービスを提供できるようにしています。
- ・充実した児童書を積極的に学校で活用してもらい、児童生徒への読書の興味・学習意欲・学習支援に繋がる取り組みとして、市内全児童生徒に学校用 ID を配布しました。

##### ◎利用状況（令和 7 年 3 月末統計）

- |      |           |       |            |       |            |
|------|-----------|-------|------------|-------|------------|
| ・蔵書数 | ： 2,767 冊 | ・貸出者数 | ： 11,357 人 | ・貸出冊数 | ： 21,390 冊 |
|------|-----------|-------|------------|-------|------------|

##### ○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

##### ◎講座・講演

- ・短歌講座

##### ◎年代に応じた児童サービス

- ・ブックスタート
- ・保育園や児童館などへの出前おはなし会
- ・乳幼児向けのおはなし会
- ・えいごであそぼう
- ・読書スタンプラリー

◎年齢別図書リストを作成

- ・0歳から3歳児向け「えほんのじかんだよ」
- ・小学生向け「にじいろぼっけ」

◎保育園・小中学校との連携事業

- ・小中学校へのブックトーク
- ・保育園や小中学校への移動文庫
- ・小学一年生の図書館招待
- ・中学生の職場体験受入

◎能登半島地震被災者支援事業

- ・広域避難所（辰口福祉会館）への移動文庫

◎第4次能美市子ども読書活動推進計画（令和7年度～令和11年度）の策定

○ 関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市教育センターへの移動文庫開始

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

◎関係機関と連携した展示の実施

健康推進課「自殺防止」・企画地域振興課「男女共同参画」

のみ商業協同組合「のみまちゼミ講座」・いきいき共生課「認知症予防」

企画地域振興課・こども相談ステーション「DV・児童虐待防止」

○ 啓発・広報事業

- ・能美市広報誌の図書館コーナー（月1回）・図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、SNSを活用した情報発信を実施しました。

○ 職員研修

- ・令和6年11月13日（水） 図書館における著作権研修

○ ボランティア研修

- ・令和6年11月28日（金） 絵本のよみかた・えらびかた研修

**評価**

図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を計画しました。

子どもの読書環境の整備・充実や地域に根差した市民の課題解決（地域支援）サービスに取り組み、適切な運営をしました。

また、非来館で利用できる「のみ電子図書館」では、子育て世代、小中学校の児童生徒の読書環境や学びの支援をしました。

その他、県内外図書館との相互利用を活用し、利用者が求める資料提供に努めました。

◇根上学習センター（53,000 千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会，研修会，サークル活動及び宇宙と  
いん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など，多様な生涯学習の場の複合施設として，  
幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

#### 令和 6 年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味，関心を高めるため，主催事業の計画を立てて準備を進めてき  
ました。

- 1 保育園園児を対象にした根上図書館との共催による「プラっとお話。」，一般市民を  
対象にした能美星の会会員が講師となるプラネタリウムを活用した星空教室，天体望  
遠鏡を使った星空観察会，プラネタリウムの定時投影を実施し天文現象に親しむ機会  
を提供しました。
- 2 小学生対象のおもしろ科学工作教室，ガリレオクラブ，JAXA の協力によるコズミッ  
クカレッジ等の教室，宇宙や科学をより身近に体験する機会としての「サイエンスフ  
ェスタ」は，身の周りの不思議に気づき発見し探究する場として計画しました。
- 3 パネル等を展示して，広く宇宙や科学に興味関心を持っていただくための企画展を  
実施しました。

#### 評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として，各種団体等に日常的に  
使用されており，今後も能美市の生涯学習施設として活用されるよう施設の運営管理に努  
めていきます。

事業内容については，参加者の動向，意見に基づき，子どもたちの科学や宇宙への興味・  
関心を育められるように内容を充実させていきます。さらに，指導者の確保による内容の  
充実に努め，能美市における科学教育の推進に繋げることで，移住，定住の促進につな  
がる魅力ある能美市づくりに貢献していきます。

◇根上総合文化会館（73,054 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市や市教育委員会の主催事業をはじめ、さまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（令和 6 年度）

年間利用件数	2,276 件（令和 5 年度	2,333 件）
年間利用者数	124,248 人（令和 5 年度	108,802 人）

**評価**

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。さらに、能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

令和 6 年度は、主催事業の開催や他団体の利用を実施しました。主催事業として、ガルガンチュア音楽祭、能美市ファミリーコンサートを開催したほか、5 年ぶり開催となった能美市アンサンブルコンサートの各種事業の開催会場となりました。

また、根上総合文化会館も開館して 30 年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫を行っています。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

## 施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

### 1 文化財の保存と活用

#### 令和6年度の主な取組

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・56,111千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の保存整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の保存整備工事を行いました。

◇史跡能美古墳群発掘調査等事業（補助・新規事業・6,660千円）

西山古墳群の保存整備工事を進めるにあたり、古墳の正確な形や規模、築造時期等の正確なデータを得るため、発掘調査を実施しました。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・3,428千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（考古資料）西山古墳群出土品の保存処理などを行いました。

◇指定文化財災害復旧事業（補助・新規事業・1,694千円）

令和6年能登半島地震の発生による揺れで破損した県指定文化財下開発茶臼山9号墳出土品の甲冑（かっちゅう）を本来の形状に修復し、演示具にも落下防止措置を施しました。

#### 評価

◇史跡能美古墳群保存整備事業

西山古墳群の保存整備工事に着手し、公開活用に向けて事業を進捗させることができました。今後も保存整備工事を着実に進めていく必要があります。

◇史跡能美古墳群発掘調査等事業

発掘調査を行ったことで、今後の保存整備工事に向けた準備を進めることができました。今後も発掘調査を進め、古墳の正確なデータを蓄積していく必要があります。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業

出土品の保存処理を行うことで、より適切な保存処置が図られるようになり、学術的にも新たな知見を得ることができました。

今後の課題としては、その成果をどのように市民へ伝えていくか、能美ふるさとミュージアムでの展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。



◇指定文化財災害復旧事業

市が所有する県指定文化財下開発茶臼山 9 号墳出土品の修復を行い，能美ふるさとミュージアムでの展示が可能になりました。今後は，再び損傷することがないように，適切な保存，管理に努めていきます。

## 2 能美ふるさとミュージアムの活動

◇教育・普及活動・賑わい創出事業（8,029 千円）

展示

展示名	期日	概要
「能美市歴史物語」上映会	前編:4月2日(火) ～6月2日(日) 後編:6月4日(火) ～8月4日(日) 全編:8月6日(木) ～9月1日(日)	能美ふるさとミュージアム1周年を記念したラジオ番組「能美市歴史物語」にイラストや写真をミックスした動画を公開。特別展示室にて上映
ミニ企画展「五月人形」	4月20日(土)～ 5月6日(月祝)	所蔵する五月人形をミュージアムギャラリーにて展示
能美市写真協会 写真展	5月14日(火)～ 5月25日(土)	能美市写真協会会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
夏季企画展「能美の昔の衣服」	7月21日(日)～ 9月23日(月祝)	旧石器時代から昭和までの各時代の衣服の形や素材、文化の変化をイラストや写真で紹介。昔の衣服を着てみよう！体験を常時開催。ミュージアムギャラリーにて展示
秋季企画展「古墳ぬりえ展」	10月5日(土)～ 12月1日(日)	市内年長児が塗った古墳ぬりえをミュージアムギャラリーにて展示
秋季特別展「西山古墳群発掘調査60年 西山古墳群の発掘調査と保存整備」	10月20日(日)～ 11月17日(日)	発掘調査開始から60年を迎えた西山古墳群の今日に至るまでの出土品や保存整備の道のりを紹介。特別展示室にて展示
企画展「救出された郷土資料～文化財を未来へつなぐために～」	1月19日(日)～ 4月27日(日)	令和6年能登半島地震による被災資料の救出活動を紹介するとともに、旧博物館・旧歴史民俗資料館時代から収蔵・保存されてきた資料を特別展示室にて展示
ミニ企画展「ひなまつり展」	2月16日(日)～ 3月30日(日)	所蔵する雛人形を中心にミュージアムギャラリーにて展示

イベントなど

講座・イベント名	期日	概要
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月～3月 土曜日 計8回開催	講師：高 剋法・高 文子（日本野鳥の会石川県支部 幹事） 合計134名参加

にぎわいイベント「のみふるこどもまつり」	5月6日（月祝）	レトロおもちゃで遊んでみよう！・あて仕事体験・のみふるラリー・Instagram 投稿キャンペーン
にぎわいイベント「のみふる夏まつり」	8月10日（土）	釣って！知って！能美の魚・あんぎん編み体験・のみふるラリー・インスタグラム投稿プレゼント
のみふる古墳まつり×防災フェスタ 2024 建設コラボ	10月20日（日）	勾玉づくり・市互助会雑貨部員による新規制作グッズ販売・南加賀遺跡魅力発信委員会と金沢学院大学コラボ（古墳カード）・ふるさとクイズ・寺井高校吹奏楽部・松明儀礼・ちびっこ九谷太鼓
にぎわいイベント「のみふるクリスマス」（金沢工業大学共催）	12月14日（土）	クリスマス縁日、スノードームづくり（KIT 主催）・のみふるオリジナルカレンダーづくり・年賀フォトスポット・SNS 投稿プレゼントキャンペーン
にぎわいイベント「のみふるひなまつり」	3月1日（土）	オリジナルペーパーつるし雛をつくらう！・はいポーズ！お雛様になりきろう・能美小松連携事業「ひぼ能ん・ゆず美ん・カブッキーを探せ！」

#### 団体見学の受け入れ

市内小学校・・・24校 児童 1,188名  
 市内中学校・・・7校 生徒 504名  
 市内保育園・・・13園 園児 363名  
 市外小学校・・・16校 児童 358名  
 市外中学校・・・1校 生徒 14名  
 市外保育園・・・5園 園児 159名  
 市外大学・・・6校 学生 148名  
 その他教育団体・・・7団体 131名

#### 出前講座

講座名「能美市ってこんなところ」  
 5月23日（木）能美市立寺井小学校  
 6月28日（金）能美市立和気小学校  
 9月20日（金）緑が丘わかばの集い  
 11月21日（木）徳久町老人会  
 11月21日（木）能美市立辰口中央小学校

- 2月16日（日）浜町いきいきサロン会  
2月27日（木）大長野町ほのぼの笑話会

#### のみふる友の会

- 総会…4月25日（木）（令和6年度総会）  
会報…『のみふる便り』を2回発行  
研修会…6月14日（金）春季研修会 石川ルーツ交流館など  
9月26日（木）秋季研修会 白山比咩神社宝物館など  
11月4日（月祝）能美ふるさとミュージアム秋季特別展展示見学会  
講師：学芸員 菅原 雄一  
11月14日（木）県外研修 一乗谷朝倉氏遺跡博物館など  
1月31日（金）・2月14日（金）・28日（金）古文書解説教室  
講師：学芸員 鎌田 康平  
ボランティア活動…イベントの補助

#### のみふるキッズクラブ

- 6月15日（土）第1回活動 ホタル観察会  
講師：富沢 章 氏（元石川県ふれあい昆虫館長）  
7月6日（土）第2回活動 水生生物観察会  
講師：高栄 晋平 氏（小松市役所）  
1月18日（土）第3回活動 土器の拓本・トレース体験  
講師：学芸員 横幕 史織・知田 真衣子

#### ◇調査・収集・記録事業（9千円）

##### ○生物生息調査

- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（6月～9月）
- ・蟹淵モリアオガエル卵塊調査（6月～7月）

#### 評価

令和6年度は、1月1日の能登半島地震の影響で、本館及び能美市内でも文化財や郷土資料が被害を受けました。その対応を行うとともに、歴史・民俗・文化を後世に伝える文化財や郷土資料を守ることの大切さを伝えるイベントや企画展も多く開催しました。

展示事業では、夏季企画展、秋季企画展、秋季特別展、企画展に加え、ミニ企画展などを開催しました。夏季企画展では身近な衣服の変遷を再現衣装などを用いて分かりやすく解説し、秋季企画展では出土品や初期の調査資料、最新の調査成果も加えて発掘調査60年となる西山古墳群の調査と保存整備の歩みを紹介しました。企画展「救出された郷土資料～文化財を未来へつなぐために～」では、能登半島地震の影響で被害を受けた市内の郷土資料のレスキューの様子や、救出された資料、これまで市民の協力で守られてきた資料や文化財を紹介し、職員が参加している能登半島での文化財レスキューの活動についても報告しました。

年4回開催されるにぎわいイベントでは、未就学児から大人まで楽しめるよう企画を検討し、多くの方にご来館いただきました。特に、3月に開催した「のみふるひなまつり」では、古代衣装をまとうお雛様になりきる撮影スポットが人気で、未就学児から高齢者まで多くの方にご参加いただきました。

のみふる古墳まつりは、隣接する防災センターで行われる「防災フェスタ」と初めてコラボ開催をし、「能美を守る」をテーマに命を守る術や、歴史や文化を守る大切さやその方法について様々なステージイベントや体験を通して学んでいただきました。

団体見学も安定して多くの学校、保育園からご利用いただきました。また、一般団体向けの出土品整理体験「トレース体験」も開始し、来館者の満足度の向上に努めました。

友の会の活動としては県内研修旅行を中心に、特別展の解説会やイベントでのボランティア活動を通して、郷土の歴史や文化に親しんでいただきました。中でも古文書解説会は人気が高く、3年連続の開催となりました。

開館から4年となり、安定した来館者数に恵まれてはいますが、今後もその時々求められるタイムリーなテーマの企画展やイベントを開催するなどし、市の文化の発信拠点としての務めを担ってまいります。

### 3 文化振興

#### 令和 6 年度の主な取組

##### ◇文化連盟・協会（4,700 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り，連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 34 協会。

##### ◇民俗芸能保存伝承（590 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより，後継者の養成，地域社会の活性化，世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 14 団体。

#### 評価

文化連盟・協会への補助を行うことで，経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や発表会などで市民の文化意識の向上を促進しており，能美市総合文化祭では文化協会会員による合同公演を開催しています。

市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など，連盟・協会員以外の方が参加できる機会を設けることにより，市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 20 号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行い，練習会やイベントで披露することで，伝統文化を守り伝えています。

## 施策 5 スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

### 1 競技スポーツの充実・強化

#### 令和 6 年度の主な取組

##### ◇県民スポーツ大会への選手派遣（16 千円）

「第 76 回石川県民スポーツ大会」の夏季大会は、令和 6 年能登半島地震のため中止となりました。「第 77 回石川県民スポーツ大会」の冬季大会は、白山市で開催され、能美市選手団を派遣しました。

##### ◇能美市民スポーツ大会（795 千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘、育成強化を図ることを目的に、6 月を中心に市内各施設（一部除く）で 24 競技が開催（2 競技中止）され、その運営補助を行いました。

##### ◇第 67 回全国銃剣道能美大会（1,200 千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会です。令和6年度は全国から76チーム、513名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

期 日 令和 6 年 6 月 9 日（日）

場 所 能美市寺井体育館

##### ◇第 49 回全日本競歩能美大会（10,360 千円）

第 109 回日本陸上競技選手権大会・35 km 競歩

兼 東京 2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会

本大会は能美市誕生 20 周年記念事業であり、「第 19 回日本学生 20 km 競歩選手権大会」、 「Asian 20 km Race Walking Championships in NOMI 2025」も併催しました。今回は、例年輪島市で開催されている「日本陸上競技選手権大会・35 km 競歩」が、「令和 6 年能登半島地震」の影響により開催が困難となったため、今大会との併催となりました。「東京 2025 世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会」にも位置づけられ、代表切符を賭けた熱い戦いが繰り広げられました。

日本選手権男子 35 km では、優勝した選手が派遣設定記録を上回り、世界選手権代表が内定し、中学生女子 3 km では、地元の選手がこの部門で初となる 3 連覇を達成しました。

大会前日には競歩大会開催への機運を高めるプレイベントとして、昨年引退を表明した競歩元日本代表の鈴木雄介さんの引退セレモニーとあわせてトークショーを行い、会場全体で鈴木さんの選手人生を思い返しました。そのほか、能登穴水復興応援ジャンボかきまつりや、出張輪島朝市、振る舞い鍋を開催し、来場者で長蛇の列ができるなど大盛況となりました。

期 日 令和7年3月16日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営コース（往復1.0km）

#### 評価

石川県民スポーツ大会への選手派遣及び市民スポーツ大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市スポーツ協会へ補助金として交付しているものであります。第76回石川県民スポーツ大会は、能登半島地震の影響から中止となりました。第77回大会の冬季大会は白山市で開催され、夏季大会については、能美市が主会場となりますので、機運を高め、成績の向上を目指し取り組んで参ります。

銃剣道大会については、大会当日に能登半島の復興を願い、市観光物産協会と協力して能登の特産品の販売をいたしました。販売は非常に好評で、全商品が完売いたしました。今後も大会の規模拡大を目指し、取り組んでまいります。

全日本競歩能美大会については、12部門計334名のエントリーのもと、日本全国からトップウォーカーが集結し健脚を競い合いました。引き続き、全国銃剣道能美大会及び全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取組みを実施し、より市民に身近な大会づくりを目指します。



## 2 生涯スポーツの普及・振興

### 令和6年度の主な取組

#### ◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,000千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内40クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携や交流、親睦を図るため、毎年様々な行事を開催しております。

#### ◇高齢者健康クラブ活動（902千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ104名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。例年開催される県の交歓大会等については、令和6年能登半島地震の影響から会場が確保出来ず中止となりました。また2年毎に開催される市健幸クラブ交歓大会では、3クラブの会員が一堂に会して、日頃の練習の成果を披露したり、参加者全員で華やかに集団演技を披露したり、クラブ間の交流を図る機会となりました。

#### ◇能美市スポーツ推進委員会（1,441千円）

地域に根ざしたスポーツ推進活動を展開しており、ニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンに誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

特に、カラーリングやスライディングペタンクといったニュースポーツの紹介と普及に注力し、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるよう工夫を凝らしています。小学校の親子レクリエーションや地域の交流イベントなどを通じて、住民同士のつながりを深め、地域の活性化にも寄与しています。

### 評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、結団式や親子ふれあい事業、スポーツ交流大会を実施しました。大雪の影響によりリーダー研修会は中止となりましたが、予定していた事業をおおむね実施することができました。今後も役員と協力し、積極的にクラブ間の交流を図るべく活動に取り組んでいきます。

高齢者健康クラブについては、会員同士の交流の機会となるよう、講師指導のもと、体操やダンスを行っております。今年度は県の交歓大会等が能登半島地震の影響から全て中止となりましたが、市内の交歓大会では限られた時間の中で会員同士が楽しく交流できました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会については、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子どもから高齢者まで幅広い世代で生涯スポーツに親しみたい方や参加者同士の親睦を深める目的で依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいている委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

### 3 スポーツ施設の整備充実

#### 令和6年度の主な取組

##### ◇根上体育館屋根等改修工事

- ・屋根改修 A=51.6 m<sup>2</sup>
- ・外壁改修 A=65.9 m<sup>2</sup>

##### ◇根上体育館大屋根改修工事

- ・棟改修 L=45m

##### ◇福岡小学校夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明施設改修 N=6 基

##### ◇栗生運動公園ダッグアウト屋根設置工事

- ・ダッグアウト屋根設置 N=4 基

##### ◇泉台スポーツセンター網戸設置工事

- ・可動網戸設置 (W1,015×H427) N=16 箇所
- ・可動網戸設置 (W1,027×H427) N=8 箇所

##### ◇根上ふれあいプール天井改修工事

- ・内装改修 (天井グラスウール撤去 A=84 m<sup>2</sup>)

##### ◇根上ふれあいプール受変電設備等更新工事

- ・高圧引込用負荷開閉器更新 N=1 台
- ・避雷器更新 N=1 台

◎スポーツ施設整備費総額 87,463 千円

#### 評価

施設整備にあたっては、既存施設の活用を柱とし、ニーズの高い競技施設の計画的な整備、安全・安心・気軽に利用できるよう充実を図っています。

根上体育館は、用具庫屋根・外壁改修、大屋根雨樋の改修工事を行いました。

福岡小学校の夜間照明施設については、古くなった水銀灯6基をLED照明に取替え、新たに3基のLED照明を設置することで、夜間に使用可能なエリアを拡張しました。

環境改善として、栗生運動公園グラウンドのダッグアウト4ヶ所に屋根を設置する工事や泉台スポーツセンター網戸を設置する工事を行いました。

今回の改修施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修

計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思ひます。

## 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

### 1 教育委員会会議

12 回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 40 件 }

#### 令和 6 年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
令和 6 年第 4 回 (R6. 4. 24)	<p>議案第 5 号 能美市学校運営協議会委員，能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員及び能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について</p> <p>報告第 3 号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</p> <p>報告第 4 号 令和 5 年度能美市一般会計の教育関係補正予算について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県市町教育委員会連合会定期総会について</li> <li>・能美市教育大綱 2024-2026 版について</li> <li>・能美市教育委員会の点検及び評価報告書について</li> <li>・令和 6 年能登半島地震に係る職員の受け入れについて</li> <li>・全国大会出場者報告について</li> <li>・能美市小中学校 管理・主任等一覧</li> <li>・能美市立小中学校 学校別人数・学級数</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（3 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（3 月状況）</li> <li>・能美シーサイドプレイパークオープニングセレモニーについて</li> <li>・ガルガンチュア音楽祭 2024 i n 能美について</li> <li>・スポーツフェスティバル i n ねあがりについて</li> <li>・のみふるこどもまつりについて</li> </ul>
令和 6 年第 5 回 (R6. 5. 27)	<p>議案第 6 号 能美市学校給食センター条例の制定について</p> <p>議案第 7 号 令和 5 年度及び令和 6 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告第 5 号 能美市被災児童生徒学用品費支給要綱の制定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（4 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（4 月状況）</li> <li>・第 67 回全国銃剣道能美大会の開催について</li> <li>・能美ふるさとミュージアムの連休中の状況について</li> </ul>

<p>令和 6 年第 6 回 (R6. 6. 24)</p>	<p>議案第 8 号 能美市学校給食センター条例施行規則の制定について</p> <p>議案第 9 号 能美市学校給食センター運営委員会規則の制定について</p> <p>議案第 10 号 能美市学校給食費徴収規則の制定について</p> <p>報告第 6 号 能美市外学校通学児童生徒学校給食費助成金交付要綱の制定について</p> <p>報告第 7 号 能美市学校給食代替弁当助成金交付要綱の制定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者報告について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（5 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（5 月状況）</li> <li>・第 43 回加賀地区中学生意見発表大会について</li> <li>・令和 6 年度能美市学校運営協議会委員名簿の訂正について</li> <li>・「萬斎からのメッセージ」石川県内学校公演 2024〈高校生鑑賞教室特別編〉について</li> </ul>
<p>令和 6 年第 7 回 (R6. 7. 25)</p>	<p>議案第 11 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 12 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能美市学校給食センター竣工式について</li> <li>・全国大会出場者報告について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（6 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（6 月状況）</li> <li>・スポーツ教室について(バレーボール, サッカー)</li> <li>・のみふる夏まつりについて</li> <li>・夏季企画展について</li> </ul>
<p>令和 6 年臨時会 (R6. 8. 8)</p>	<p>議案第 13 号 令和 7 年度から令和 10 年度使用小学校教科用図書の採択について</p>
<p>令和 6 年第 8 回 (R6. 8. 27)</p>	<p>議案第 14 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 15 号 能美市体育施設条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 16 号 令和 6 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p>

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恩納村教育交流パートナー事業について</li> <li>・ 全国大会出場者報告について</li> <li>・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7 月状況）</li> <li>・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（7 月状況）</li> <li>・ ふれあいあいさつデー強化週間について</li> <li>・ ツエーゲン金沢ホームタウンサンクスデーについて</li> <li>・ 第 18 回能美市ファミリーコンサートについて</li> </ul>
令和 6 年第 9 回 (R6. 9. 26)	<p>議案第 17 号 能美市辰口地区学校給食事業負担金徴収条例施行規則を廃止する規則</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能美市・恩納村教育交流パートナー事業の報告について</li> <li>・ 令和 6 年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について</li> <li>・ 全国大会出場者報告について</li> <li>・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（8 月状況）</li> <li>・ 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について</li> <li>・ 令和 6 年度能美市立小学校 運動会について</li> <li>・ 第 20 回能美市民スポーツフェスティバル in たつのくちについて</li> <li>・ のみふる古墳まつり×防災フェスタ 2024 建設コラボについて</li> </ul>
令和 6 年第 10 回 (R6. 10. 29)	<p>議案第 18 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国大会出場者報告について</li> <li>・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9 月状況）</li> <li>・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（9 月状況）</li> <li>・ 第 4 回能美市子ども未来創造フェスティバルについて</li> <li>・ 第 20 回能美市総合文化祭について</li> <li>・ スポーツ教室について(バドミントン・ハンドボール・野球)</li> </ul>
令和 6 年第 11 回 (R6. 11. 19)	<p>議案第 19 号 令和 6 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 20 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 21 号 能美市体育施設の指定管理の指定について</p> <p>議案第 22 号 能美市働く婦人の家の指定管理者の指定について</p> <p>議案第 23 号 能美市指定有形文化財の指定について</p> <p>報告第 8 号 財産の取得について</p>

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者報告について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（10 月状況）</li> <li>・市小中学校令和 6 年度卒業式・令和 7 年度入学式について</li> <li>・第 61 回歳末助け合い入札展について</li> <li>・スポーツ教室(卓球)の開催について</li> </ul>
令和 6 年第 12 回 (R6. 12. 23)	<p>議案第 24 号 能美市地域クラブ補助金交付要綱の制定について</p> <p>議案第 25 号 能美市地域クラブ認定内規の制定について</p> <p>議案第 26 号 能美市地域クラブの認定について</p> <p>議案第 27 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年能登半島地震に係る受け入れ職員の期間延長について</li> <li>・能美市学校給食センターについて</li> <li>・全国大会出場者報告について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（11 月状況）</li> <li>・令和 7 年 能美市成人式～二十歳のつどい～</li> <li>・能美市スポーツ教室「寺田明日香選手と走ろう！」</li> </ul>
令和 7 年第 1 回 (R7. 1. 24)	<p>議案第 1 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者報告</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12 月状況）</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（12 月状況）</li> <li>・令和 6 年度歳末助け合い入札展実績報告</li> <li>・令和 7 年能美市成人式～二十歳のつどい～(実績報告)</li> <li>・まなびフェスタ 2025 参加者募集</li> <li>・能美ふるさとミュージアム企画展「救出された郷土資料」について</li> </ul>
令和 7 年第 2 回 (R7. 2. 21)	<p>議案第 2 号 能美市学校給食センター条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第 3 号 能美市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 4 号 能美市育英資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 5 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定（新入学用品費入学前支給）について</p>

	<p>議案第 6 号 令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 7 号 令和 6 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について (3 月補正)</p> <p>報告第 1 号 令和 6 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について (2 月補正)</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者報告</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 (1 月状況)</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告 (1 月状況)</li> <li>・能美市内小中学校 令和 6 年度卒業式・令和 7 年度入学式について</li> <li>・第 49 回全日本競歩能美大会の開催について</li> <li>・のみふるひなまつりについて</li> </ul>
令和 7 年第 3 回 (R7. 3. 28)	<p>議案第 8 号 能美市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 9 号 寺井高等学校昼食提供事業実施要綱の制定について</p> <p>報告第 2 号 令和 7 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会出場者報告</li> <li>・能美市教育委員会の点検及び評価報告書について</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 (2 月状況)</li> <li>・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告 (2 月状況)</li> <li>・能美市内小中学校 令和 7 年度入学式について</li> <li>・能美市健康クラブ開講式について</li> <li>・能美市ジュニアスポーツクラブ結団式について</li> <li>・能美市ふれあいあいさつデーについて</li> <li>・ガルガンチュア音楽祭 in 能美について</li> </ul>

## 2 総合教育会議

年 月 日	議 題
R6. 12. 23	<p>(1) リーディング DX スクール事業における GIGA スクール構想の推進と学力向上</p> <p>(2) 部活動地域移行の進捗状況について</p>



### 3 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
R6. 4. 8	市内小中学校入学式
R6. 4. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 5. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 5. 17	石川縣市町教育委員会代表者会
R6. 5. 17	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
R6. 6. 6	湯野小学校計画訪問
R6. 6. 17	ふれあいあいさつデー
R6. 6. 25	浜小学校計画訪問
R6. 6. 27	根上中学校計画訪問
R6. 7. 3	辰口中央小学校計画訪問
R6. 7. 11	寺井中学校計画訪問
R6. 7. 12	辰口中学校計画訪問
R6. 7. 16	ふれあいあいさつデー
R6. 8. 1	能美市学校給食センター竣工式
R6. 8. 3	第43回加賀地区中生意見発表大会兼令和6年度少年の主張石川加賀地区大会
R6. 9. 2～	ふれあいあいさつデー強化週間
R6. 9. 12	寺井小学校計画訪問
R6. 9. 20	和気小学校計画訪問
R6. 9. 27	石川縣市町教育委員会代表者会
R6. 9月～10月	市内小中学校運動会
R6. 10. 16	ふれあいあいさつデー
R6. 10. 23	能美市・恩納村教育交流パートナー事業報告会
R6. 10. 30	栗生小学校計画訪問
R6. 11. 3	能美市表彰式
R6. 11. 12	令和6年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
R6. 11. 15	ふれあいあいさつデー
R6. 11. 25	宮竹小学校計画訪問
R6. 11. 29	福岡小学校計画訪問
R6. 12. 16	ふれあいあいさつデー
R7. 1. 12	能美市成人式～二十歳のつどい～
R7. 1. 30	令和6年度 石川縣市町教育委員会連合会「新任教育委員研修会」
R7. 2. 3	能美市制施行20周年記念祝い給食
R7. 2. 17	ふれあいあいさつデー
R7. 3. 14	市内中学校卒業式
R7. 3. 17	ふれあいあいさつデー

評 価
-----

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき，教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として，委員自らが重要な責務を自覚しつつ，職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し，能美市教育大綱の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を切り拓く 人づくり』の実現に向けて，教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ，更なる教育行政の推進に努めています。

令和6年度の事業結果を拝見すると、例年通り、充実した学校教育、社会教育が行われているとともに、さらに良くするにはどうしたらよいかと考え、挑戦されていることがわかる報告になっています。

特に、令和6年度は、教育のDX化についてはこれまでの試みを進めるとともに、文部科学省「リーディングDXスクール事業」に採択されることにより、弾みがついているように思われます。モデル事業などは大変ではありますが、外部から情報や協力を得られます。また、成果の発信は他の地域に役立つとともに、反応をもらうことが取り組みの見直しを可能にします。積極的な取り組みは好循環を生みますし、今後とも可能な範囲で続けていただきたいと思います。

また、特別支援教育の必要性が高まっていることを受けて、特別支援教育支援員に対する研修を充実させていますが、これは現在の支援員を支えるとともに、今後、支援員をやってみようと考えてくれる人を探す上でも大きな力となり、人材確保にもつながる可能性があると思います。

コミュニティ・スクール事業もさらに充実されてきているようです。地域の人たちが積極的に協力されており、それに子供たちも応えているという、双方向のよい関係が報告から読み取れます。それらの実績に裏打ちされた信頼が地域にあることが、地域の人々の参加をさらに呼び込んでもいるようにも思われますし、例えば、「ほっとるうむ」の朝の開設などといった新たな取り組みを可能にしているように思われます。

ここで能美市の様々な教育の取り組みの意義を改めて考えてみたいと思います。少しさかのぼりますが、1965年にユネスコ（UNESCO）で「永続教育」という討議資料が出されて以来、「生涯学習」、それを支援することを意味する「生涯教育」という考え方が広がりました。日本も、その観点から学校教育も社会教育も見直されてきました。2006年の教育基本法の改正では第3条に生涯学習の項が新設されました。つまり、すべての教育施策のベースは人々の生涯学習を支援することであるとされました。

人々の生涯学習を支援する理由にはいくつかありますが、例えば、人々の学習権の保障があります。現在、あるいは将来にわたって社会で生活していくために必要な知識や技能を身につけたり、日々を心豊かに過ごすために、人々が学習機会へアクセスできるようにする、ということです。例えば、子供達には中学校卒業までに確かな学力を身につけさせてあげて、卒業後も自ら学び続けられるようにしてあげることが求められています。勿論、今を心豊かに過ごせることも大切で、それが学び続ける姿勢を作ってあげることにもなります。このような観点から報告を見ますと、子供たちの将来を見越した学習支援や、学習を阻害する要因の早期発見、阻害要因の排除あるいは軽減のための取り組みがなされているのがわかります。一方で、大人の興味関心も行動範囲も広く、市だけで収まるわけではありませんが、市内にも多くの学びの機会が存在します。また、生涯学習支援は教育委員会だけが行うわけではありませんので、市長部局の取り組み、それとの連携なども視野に

入れて考えていく必要があります。

生涯学習を支援する理由には、科学技術の発展や産業構造の変化、少子高齢化や人口減少による地域コミュニティの変化など変動する社会に対応するため、ということもあります。例えば、現在、SNS や生成 AI の有効性と危険性がよく話題になりますが、特にフィルターバブルやフェイクニュースなどの影響は心配な面です。多様な人と一緒に過ごすことで危険性は軽減させられるかもしれません。また、ジュニアスポーツクラブや高齢者健康クラブなど地域での学びの場があり、それを支えている人たちがいますが、地域コミュニティの存続という面から大きな意味を持っています。勿論、コミュニティ・スクールも同様です。

本年度は令和 6 年元旦の能登半島地震の影響で、能美市の文化財や郷土資料にも被害が出たとのことですが、能美市の歴史や文化をさらに幅広く紹介することに積極的な一年だったようです。地域を大切にしつつ、個々人の学習を丁寧に支援しようとしている様子が見え、報告書となっていると思います。